

今僕達は近所の小さな
森林の中の廃墟に肝だめし
に来ています。
どうやらその廃墟には
出る噂があるみたいで...

ねえ、やめようよ
こんな時間に肝だめし
なんても危ないよ?

なんだあ?..
危ないからこそ
楽しいんじゃないか

びびりなやつ

そうだが、
もう目の前まで来て
るんだからな!

あ!!

ここだ!!
すげー!!

ふんいき
あるな!

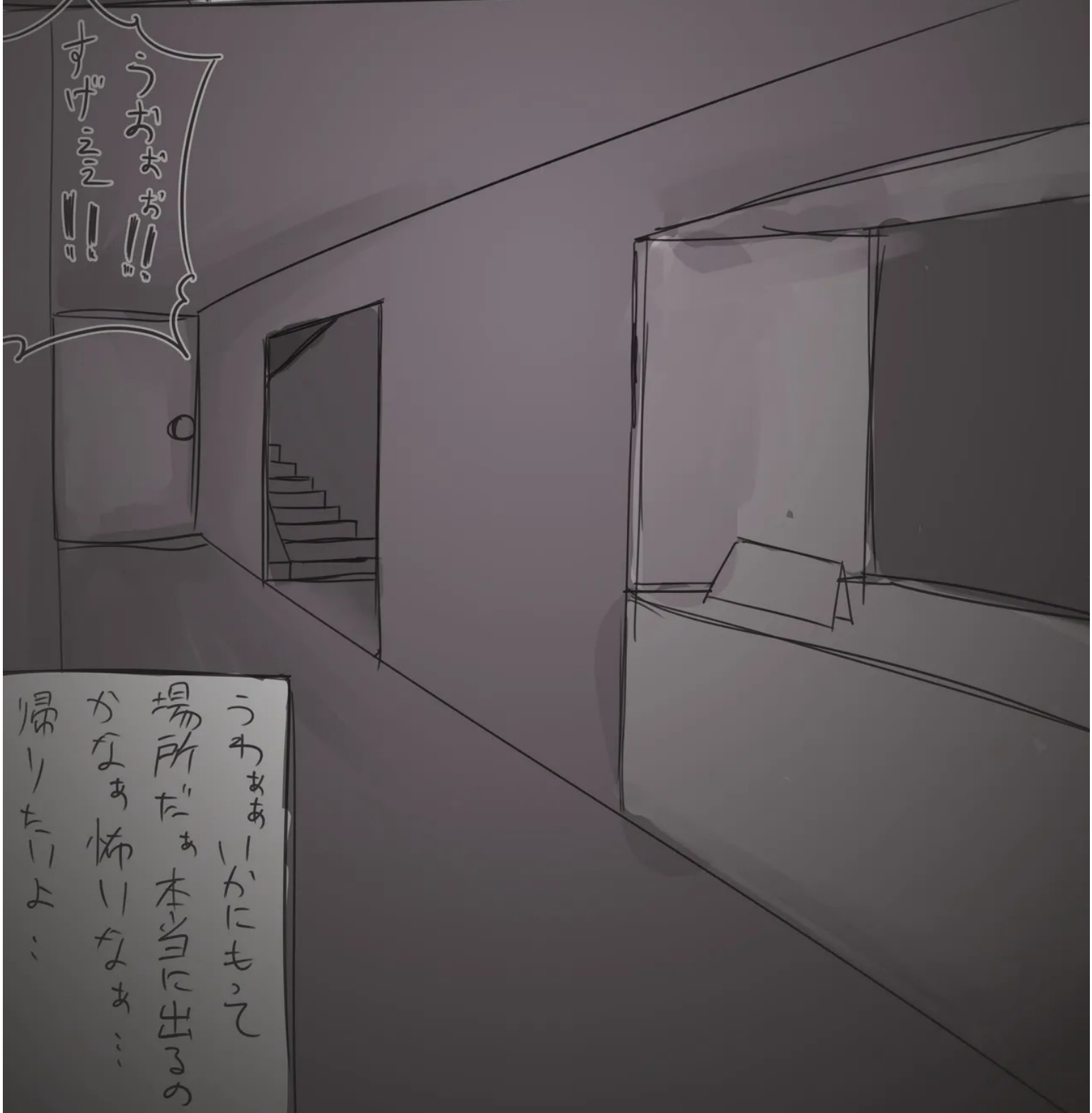


こうく...
本当に入るの??

さっそく
入ろうぜ!!



うわぁぁぁ
すげえええ!!



うわぁぁぁ
いかにもって
場所だぁ
かなぁ
怖いなぁ...
帰りたいよ...

F1



こちにはまだ……
右に2階への階段
手分けして行くか!!



へにかった。
俺らは2階に
行く!! 行くぞ!!



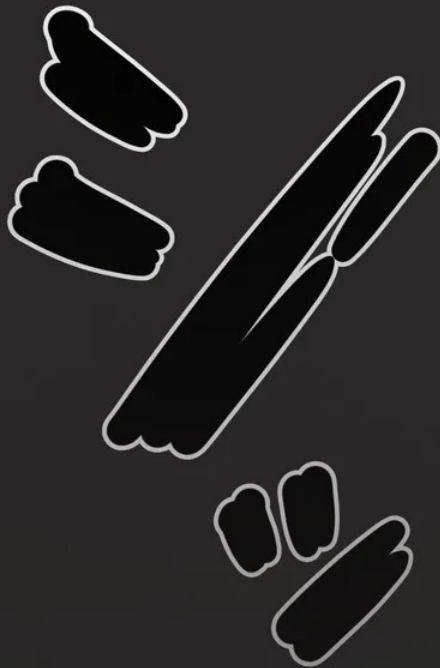


いかにも何かありそう
を感じするよねあつ..
楽しくなってきた!!

うわあ



なあ！！
そう思うだろう？



なん？なんだよ
お前！！

っ！？人間じゃない！？
てか服が脱げて！！



目の前に現れたのは
人間じゃない何かだった。

おお、あ
ちゃんおぼい
はまわて!!?

ああ
なんかちゃんか
へんな感じ

むぎゃ

そして少年の性器は
何かがその巨大な乳房に
よって余すことなく
つままれていた。

へんにみる
からあふ

ああ
だめ
うごかさないで

ぱん

ぱん

何かはその乳房と上下に
動かし少年の性器を
弄び始めた。未知の快感に
少年は恐怖する。

あゝ♡
なんや気持ち
いいとまらない♡

たあ？!!
おしこごちやう!!
せめて♡



今まで一度も性器による
快感と味わったことのない
少年にそれと耐えること
など不可能であった。



少年は射精した。
わけも分からず人間では
なり化け物の乳房によって
強制的に精通させられた。



初めての快感、射精に
少年は困惑し息を
切らす。



ぽん
ぽん
ぽん
ぽん
ぽん

ぽん
ぽん
ぽん
ぽん
ぽん

だめと
しゅ
しゅ

ああああ
もうだめ
まもまいのときめきだ

ぱん♡
ぐちゅ♡

ぱん♡

ぐちゅ♡

ぱん♡

かん♡

〜

ぐ
がく

しかし無情にも
化け物はまた乳房を
動かし始めた。
少年は過剰な快感に震える。

あてら
いざいざ
やべでええ
♡

うあああ♡
ぐちぐちしないぞ
ちんちんなんなるさ♡

ぱん♡
ぐちゅ♡

ぱん♡

ぐちゅ♡

ぱん♡

かん♡

ぐ
がく

射精の敏感な性器と
精液を潤滑油とし
その滑らかな乳房で
弄んでいく。

やめよう
やめよう

あらあひい
でもとまたでや
でやううあああ

ぱん♡
ぐちゅ♡

ぱん♡

ぐ
がく

ぱん♡
がく

ぐちゅ♡

少年はまたも限界を
向かへ射精の準備と
始める。
そして...



おききおきき
またおわりだ
二つねだめだ

ニルニルニル
むろろろろ
たぬたぬたぬ

はん

はん

くちん

は
ん
こ

知

か
く
く



どちゃ

A stylized logo featuring the word "Zoo" in a bold, outlined font. The letter "o" is replaced by a heart shape. The logo is positioned in the bottom right corner of the page.

が

それでもまた搾精は
終わらない。

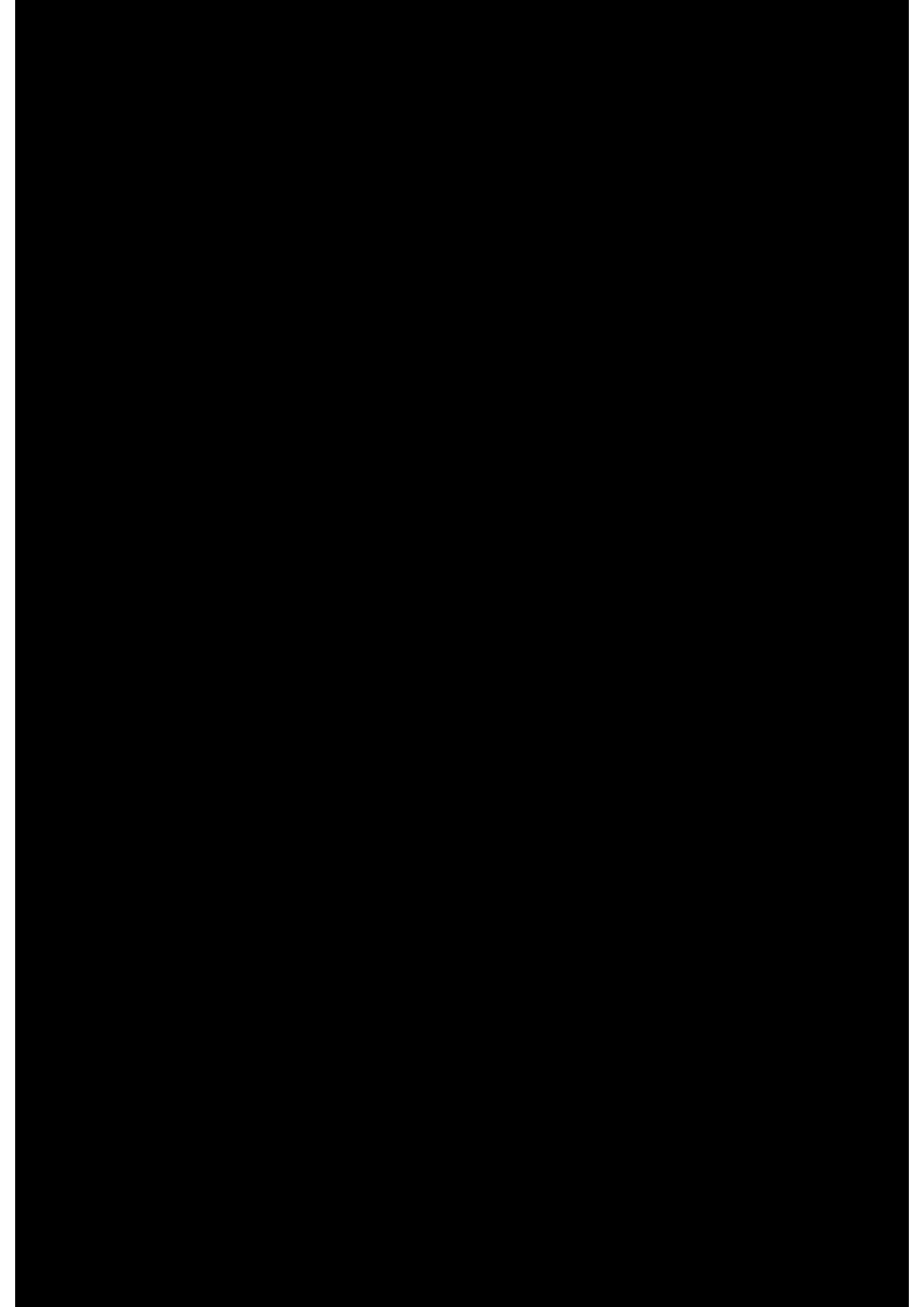


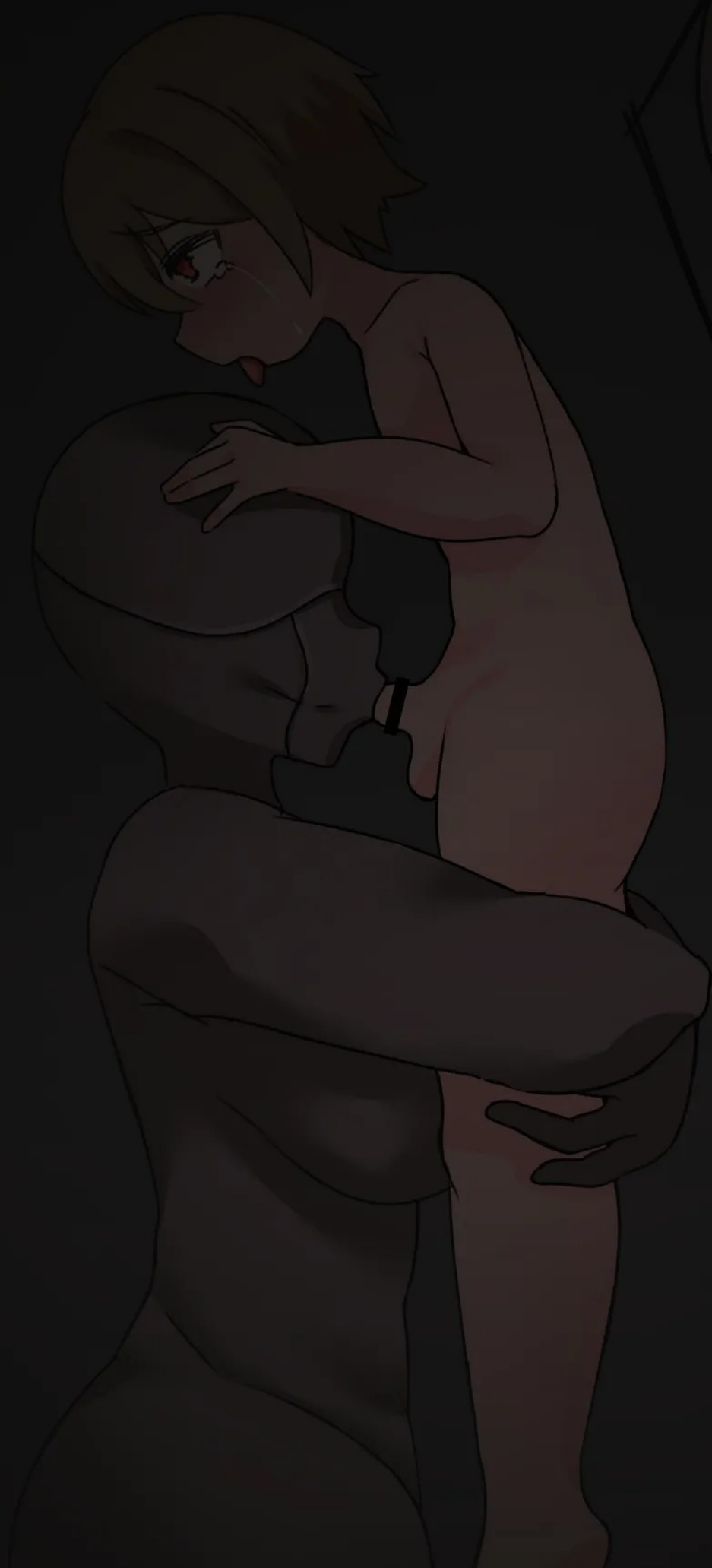
「セガ少年の意識も
薄れこいく。」





やがて少年の意識も
薄れていく。





!?
うん
食べられてる



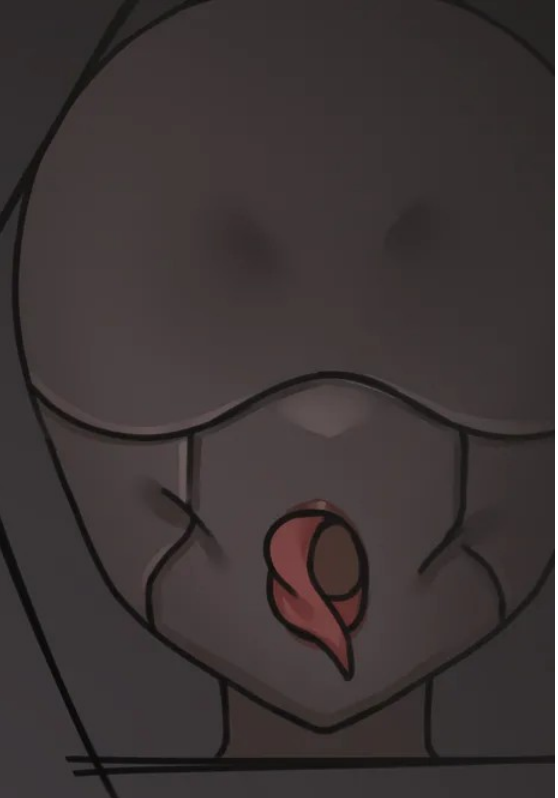
強すぎる快感で
目が覚めた。
少年は性器をしゃぶられて
いた。

あら
だめえ
食ふいご



散々おっぱいで精を
搾取されても尚、
何かは満足してゐた。
少年はまたも精を搾られる。

まてまて
まだでかい
やだやだ!!
やめなさい



いっぽん

ぐんぽん

あれだけの精を放た
にもかかわらず
少年は早くも…



ああ、
うしろ

ぐちゃぐちゃ

どろろ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

射精した

おおおお
とあ
もろもろ



それでも決して搾精は
止まらない。
性器に舌が絡み精をよこせと
ねぶり口の中で犯してくる。

もうまじり
だめだめだめ
せんで

少年はなすすべもなく弄ばれ
やがて……

やがて

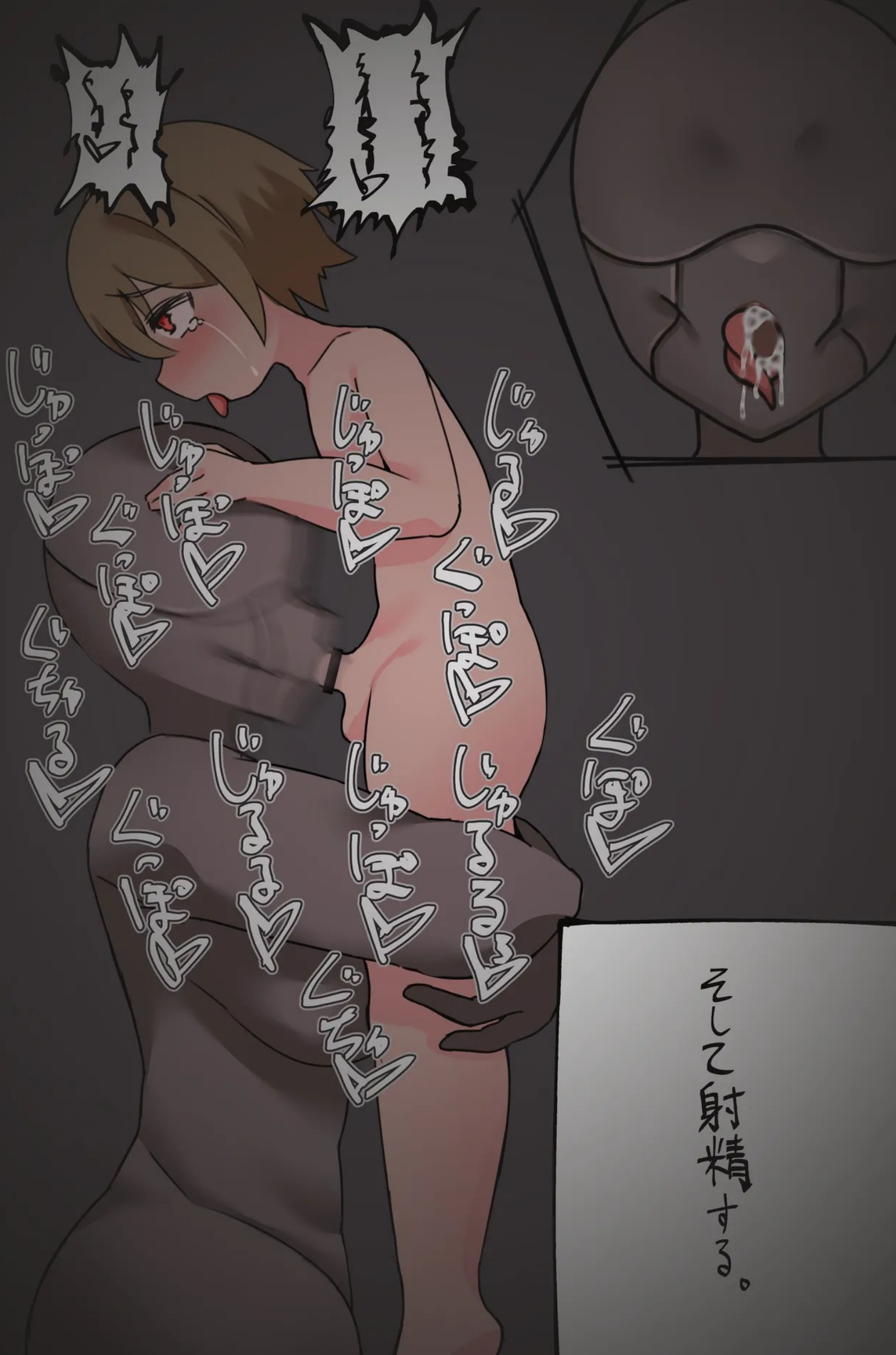


絶頂する。

終わりの無い搾精劇に

少年は意識を手放そうと

するが強すぎる快感で居られる。



そして射精する。



舌で舐められ射精
舌でしゃかれ射精
舌で吸われ射精
舌で圧迫され射精
決して終わらない逃げない快楽

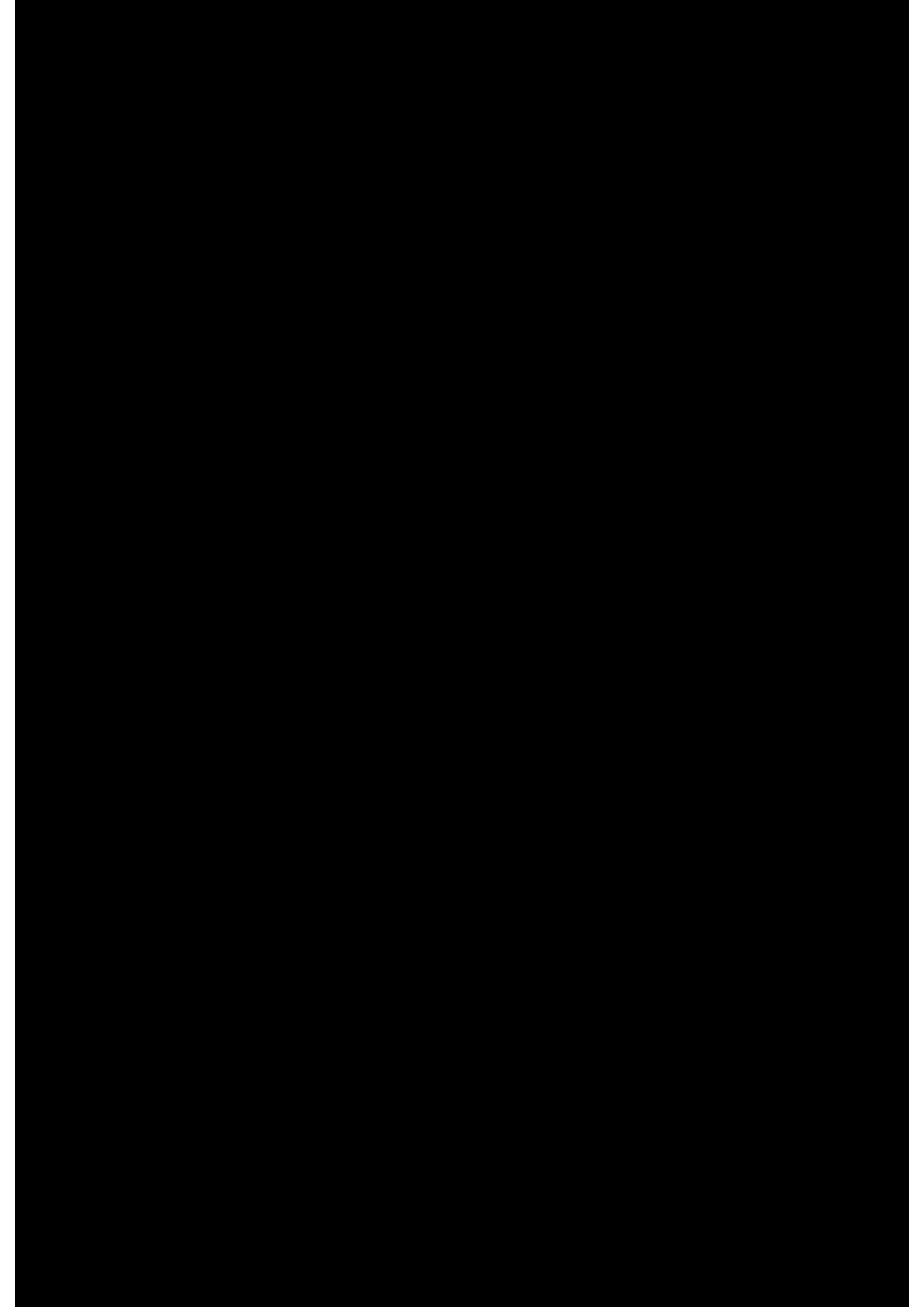


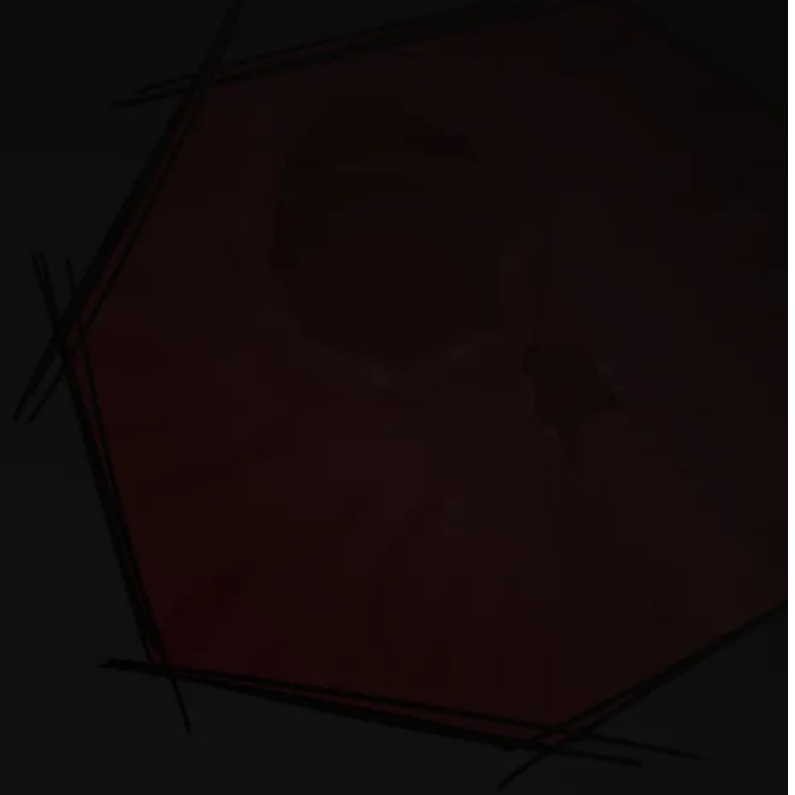
あんな
いい
感じ
し
た
り
な
い

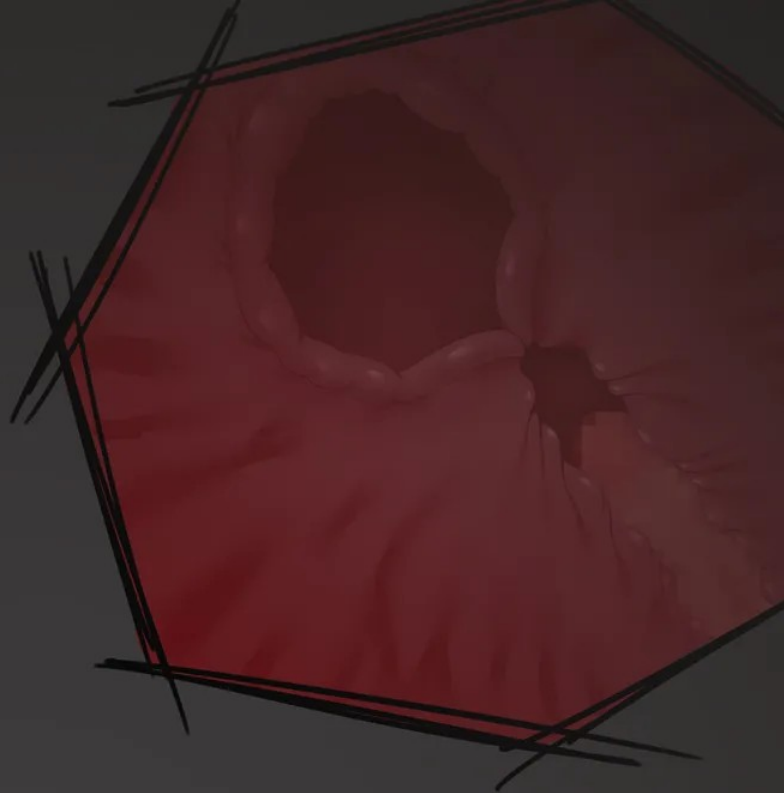
んんん
んんん
んんん

意識を手放すようにも
放せず、ただ精を搾られ続け、
射精以外に道は無く、
無慈悲にも続く搾精處









一、二時間ほど口で加えられ
搾精された所で

何かの動きは止まった。

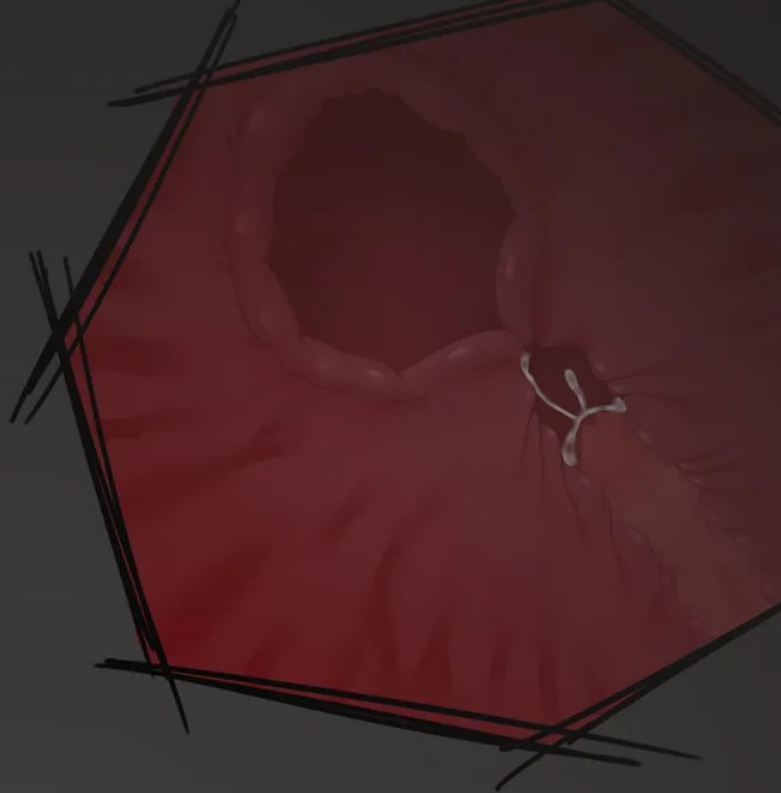
ほっとしたのも束の間何かは

少年の性器と自分の性器に挿入した。

ず
ちゅん
♡



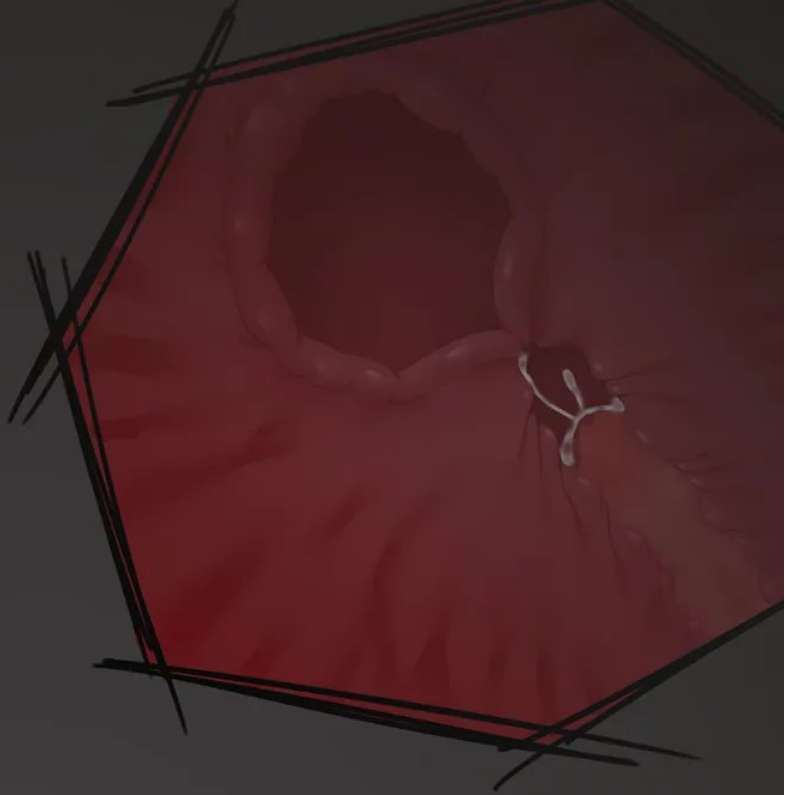
射精した。少年は射精した。
入れた時の刺激だけで射精
したのだ。何かの性器は名器
だった。この世のどんな女よりも。



ぱ
びゅ
ん

ぱ
びゅ
ん



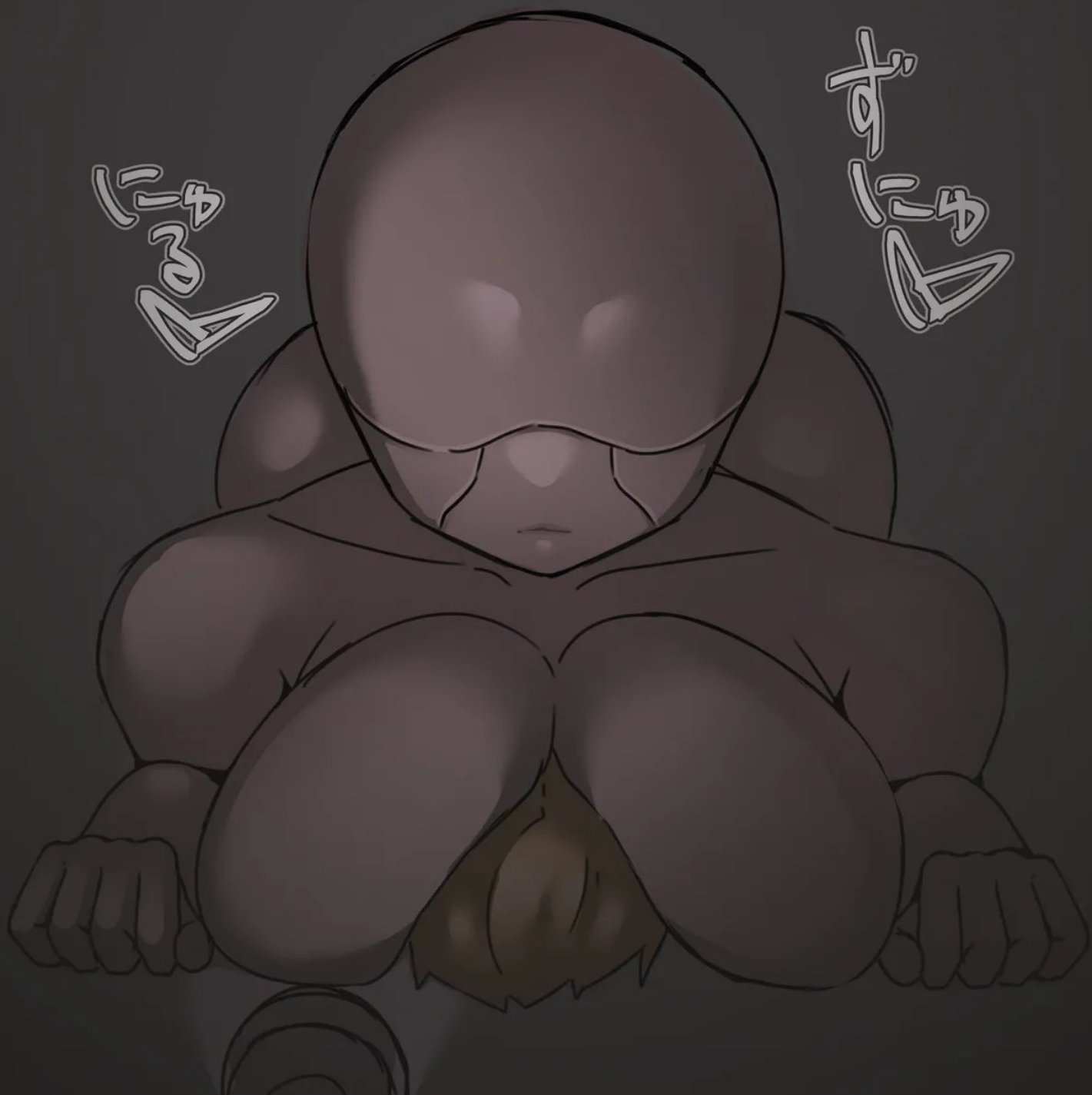


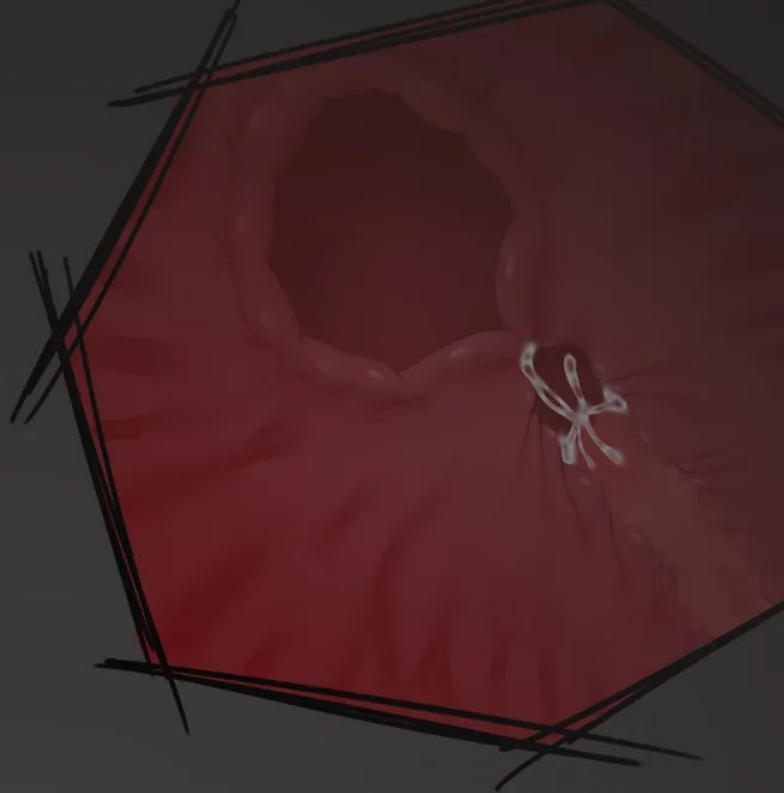
男を屈服させるために
出来た性器。

中のゴクリとっぴんがまるで

生きているかのように少年の性器

に絡みつく。





また射精する。

止まらないう。十二三精通した

ようなまだ快楽を覚えたこの

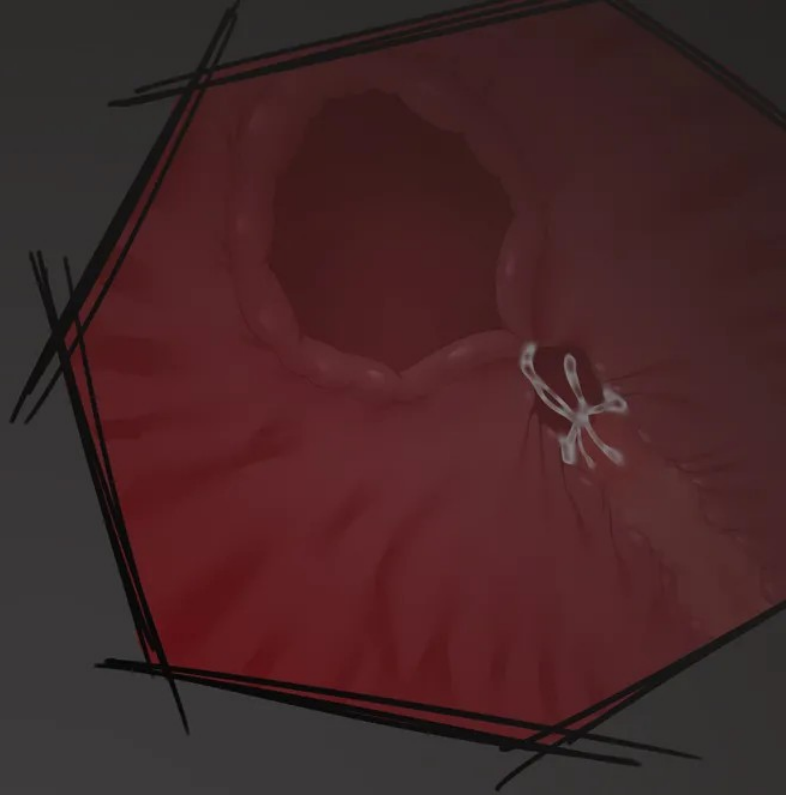
少年には到底耐えられるような

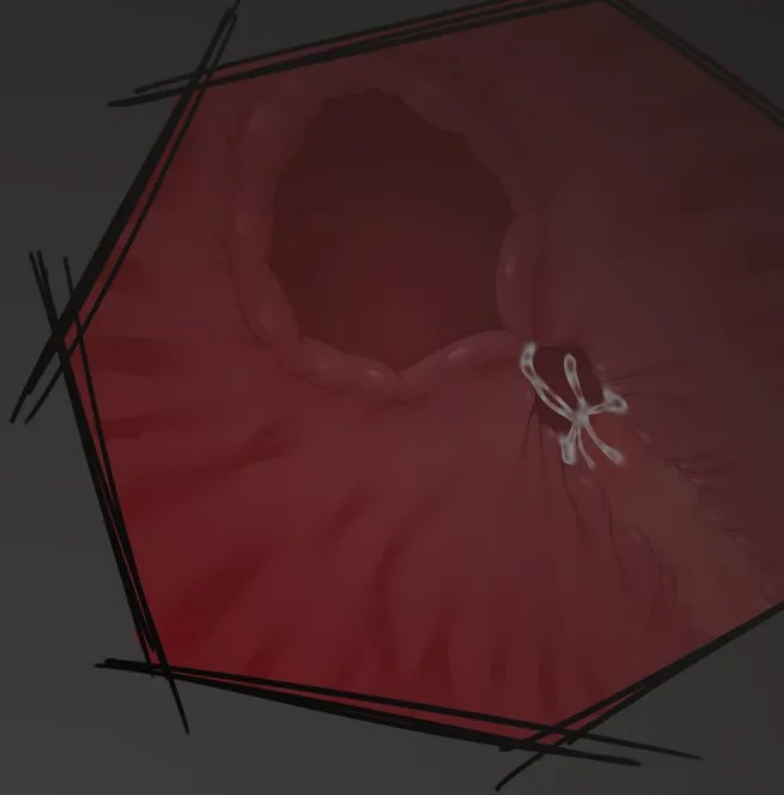
刺激ではなかった。

びびるるるる



まだ動いてもいいのに、
少年は挿れただけで
二回も射精した。
当然、これだけで満足する
はずもなく……





腰を激しく振り始める。

少年の性器とその淫靡な肉

を容赦なくしごきこたえる。

そんな快楽に耐えられる

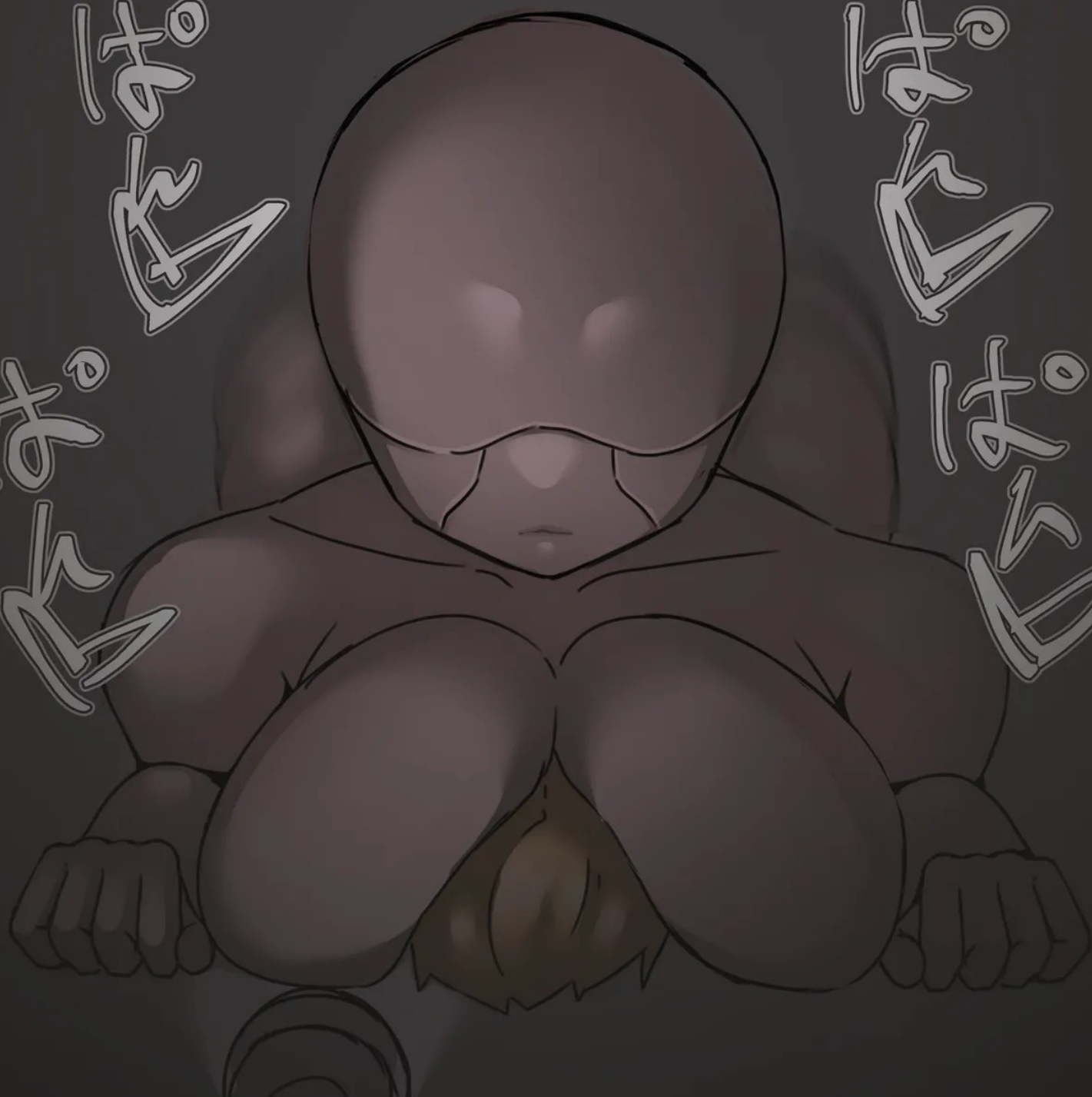
わけもなく……

は。ん。

は。ん。

は。ん。

は。ん。

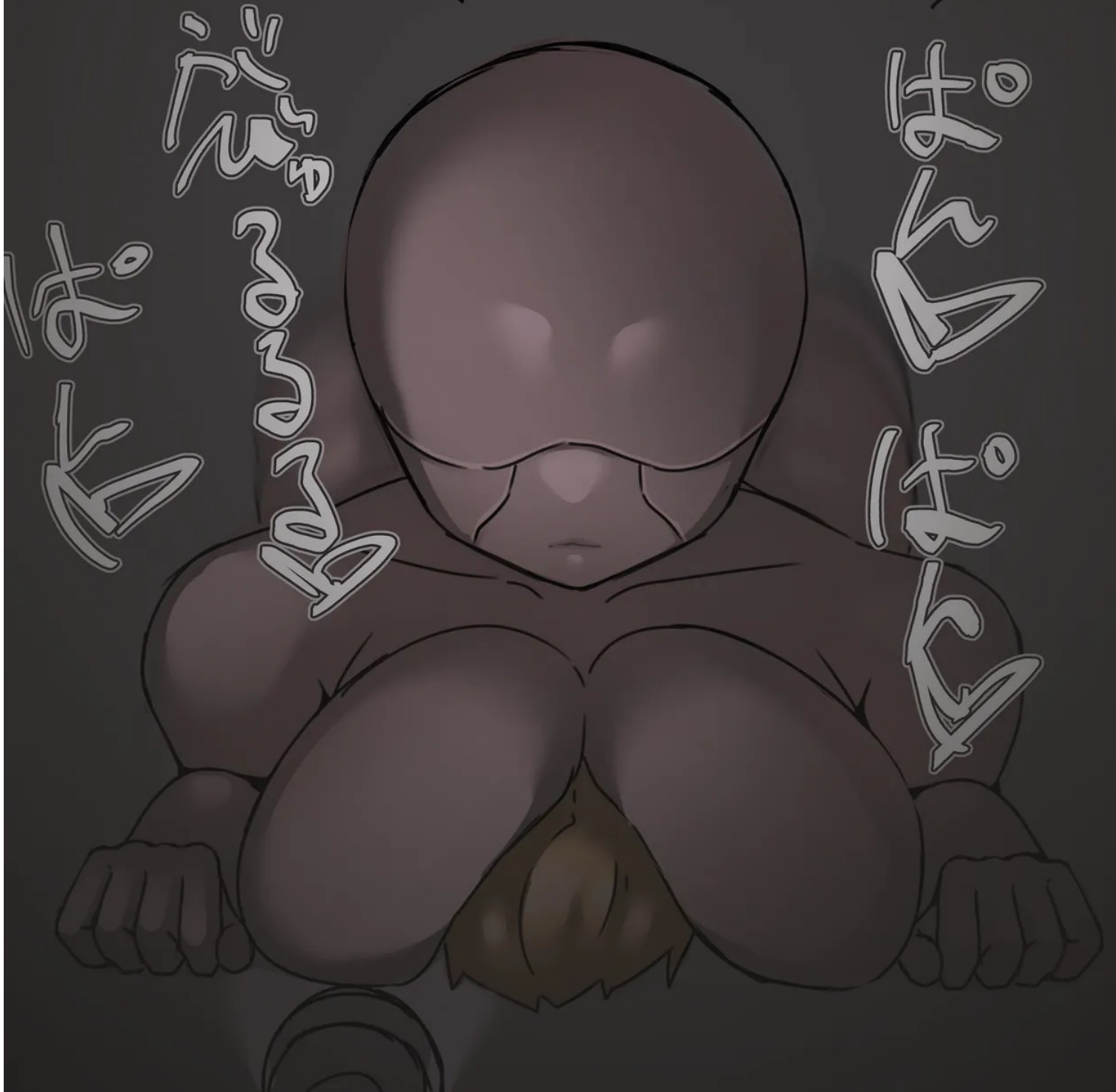


射精。また射精。

これだけだとしても萎縮する

ことなかだし続ける。

その名器に勝てるわけもなく。



ストーリーはオチに回すつもり。
もっとだせ。もっと射精しろと
言わんばかりに少年の性器
をしゃしゃりあげ……

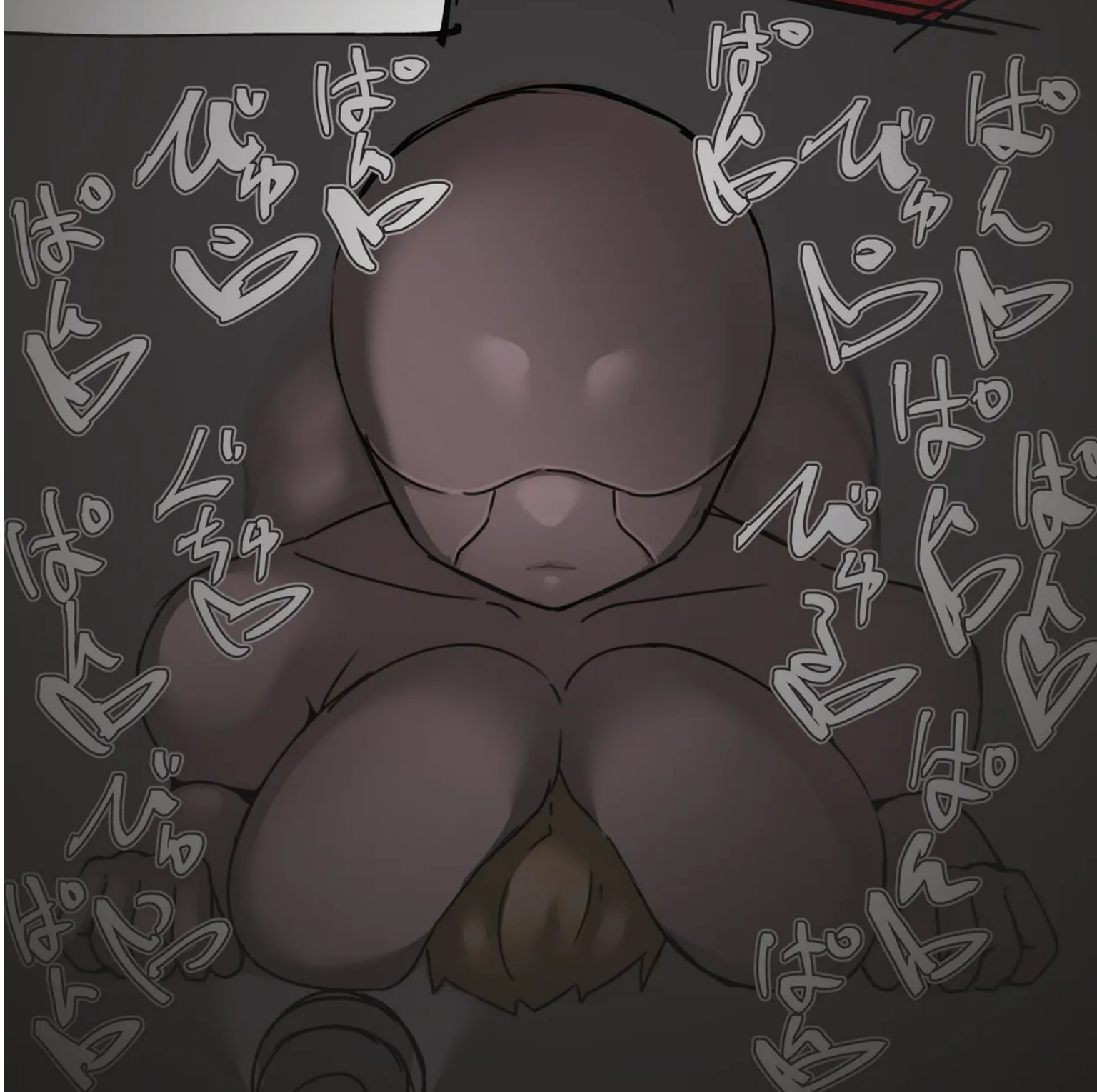


射
精

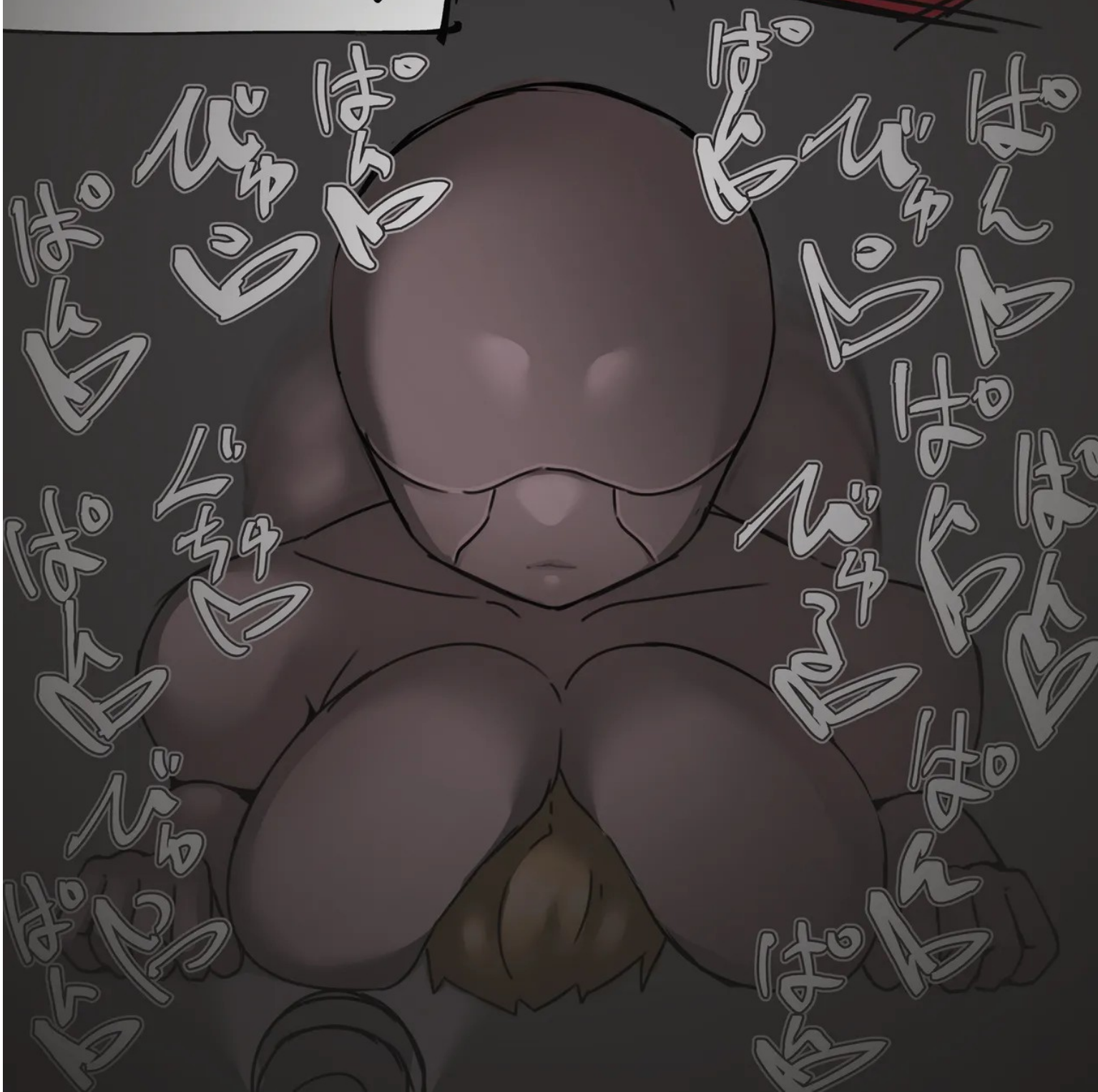


休むことなく腰は振られ
休むこともできず射精させ
られる。少年の脳は快楽に
白く染められていた。

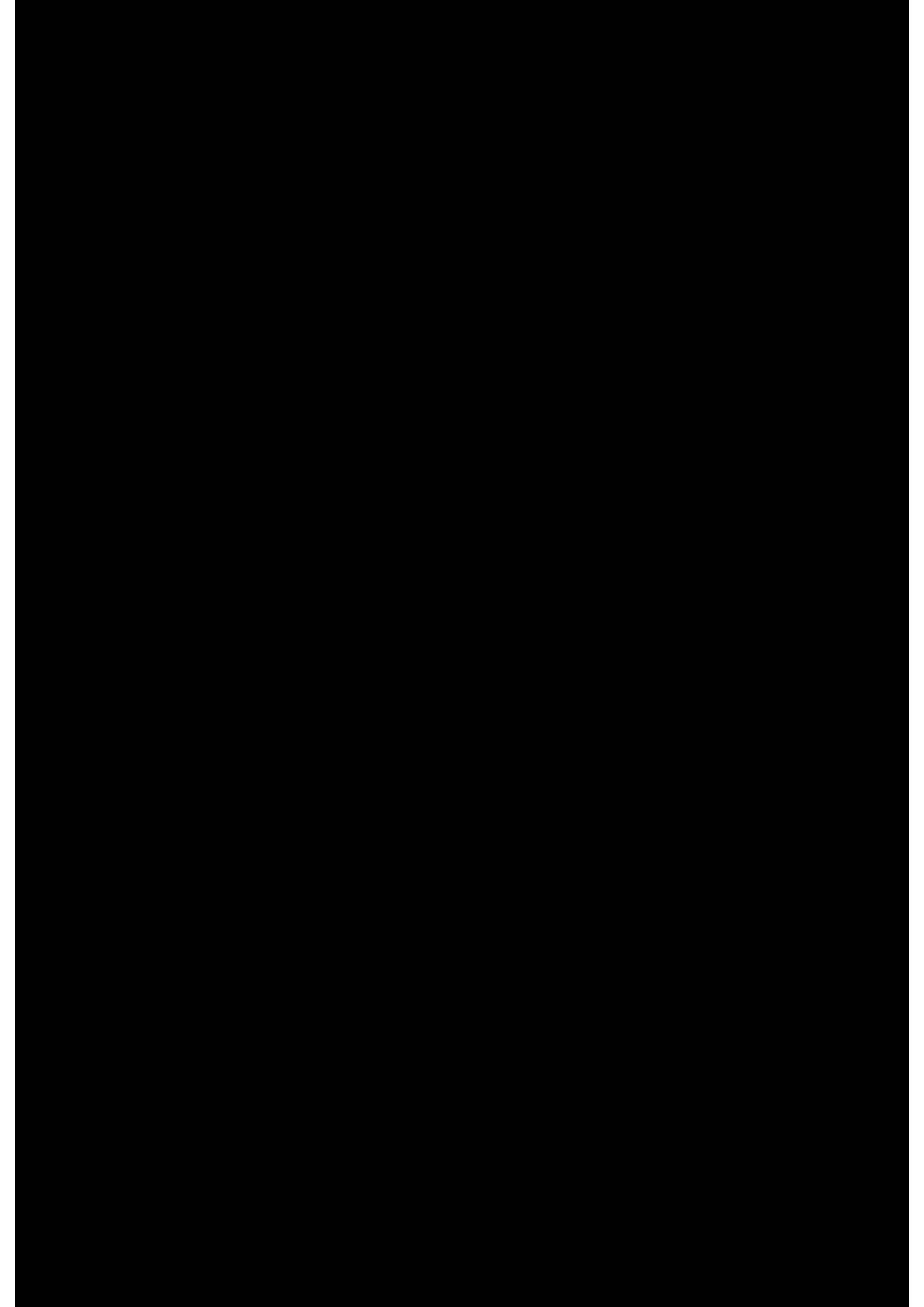




彼にこれから待ていよのは
朝に射精昼に射精夜に
射精いつでも射精
彼女に支配され精を垂れ
流す未来であった。







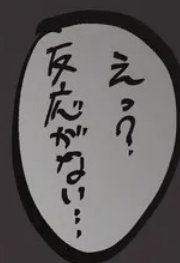
く君とこころ？
先に行かないでよ



ん？







これ入形だ
なんでこんな感じ...

冷たっ!!
えっ!?





ん~

ん?
!



が



二

三

少年は運が悪かたに
不運にも風が吹いたせいで
マリナーが起動してしまた。
いそいそと逃げよう。



ん!!

ずいぽん

マリナー

マリナー

見ても無残な搾精劇
少年はこれから何度も
無慈悲に情け容赦なく
精を搾り取られるのだ。

むぎゅ
ん!!

すん

44

キヨニシーは少年を
力ずくで抑え込み
抵抗する力が
なくなるのを確認し、

アッ

ギョ
ッ



その肉々しい太もも
で少年の性器を握り
始めた。



じゅんじゅん
!?
じゅんじゅん

じゅんじゅん

ずんずん

ずんずん

また射精を知らない
ような少年にはあまりにも
刺激的すぎた。
抱まなかえられ乳房を
押しつけられ、



ぐんぐん
ざんざん

ざんざん

ざんざん

ざんざん



唇を奪われ口の中を
犯されながら性器も
たももびじりたかれ。
少年に耐えられる道理は
なかった。

射精。

少年はわけも分からず

射精した。

しかし搾精は上まらな

!?

びゅる

びゅる



おぼれ少年は困惑した。

膨大な快樂の波に
おぼれ少年は困惑した。
初めての感覚に
どろろとしたもてまはじめて...

いっ
ちや
る

いっ
ちや
る

いっ
ちや
る

いっ
ちや
る

いっ
ちや
る

いっ
ちや
る

いっ
ちや
る

いっ
ちや
る

またも射精。

一生脳裏に焼きついて
離れぬ快楽に恐怖する。



口を犯され助けも呼べず
体を彼女の官能的な肉体
で抑えつけられ性器を
弄ばれ快楽と羞恥するの
為術もなく...



射精
①



が
ん
ご
ろ
ろ
ろ
ろ

ん
ご
ろ
ろ

ん
ご
ろ
ろ
ろ
ろ

突然もこみしーの動き
が止まる。やっと終わったと
思ったその時。



少年は押しつぶされた。
キョニシの乳房に顔を
抱まれその香りを直に
吸い込んでしまった。

どっぴん

むぎやう



肺が濃厚なフロモンで
満たされ少年はひどく
興奮する。

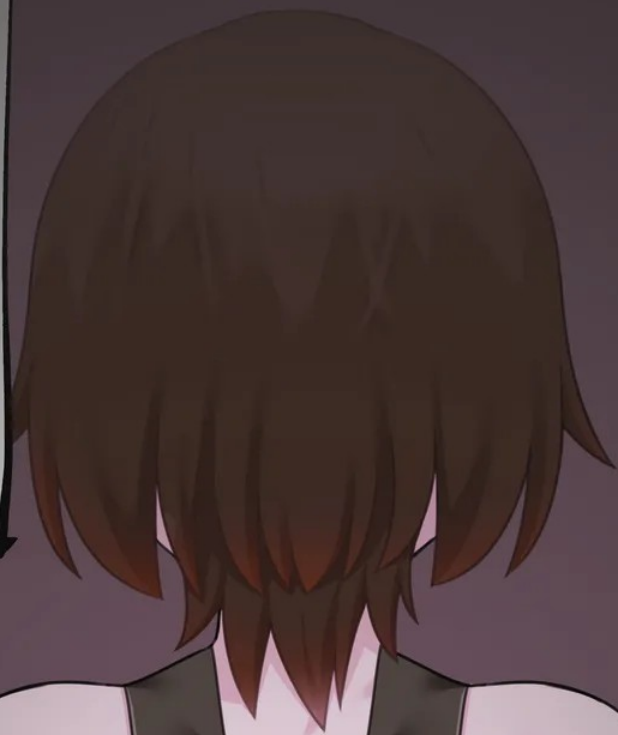
その時彼女の服と性器が濡れた。



少年はただそれだけの
刺激で射精した。
それだけ彼女の香りで
興奮してしまっていたのだ。

べゅるるるる





しかしそんなにはなない
彼女にこんな感じでいこう
ばかりに腰を振りあげた。

少年は舌を上げました

するが彼女の乳房に当たられる。

ぽん

ぽん

ぽん

声を上げようとすればするほど
香りを吸い込んでしまう。
吸い込めば吸い込むほど
射精感が高まり限界を超え

すんすん

がくがく

ぱん

ぱん

ぱん

射精してしまおう。



びゅん
びゅん
びゅん

びゅん
びゅん
びゅん

もういっぺんニューロー
は買っちゃう。少年は思っ
たがりより香りを吸い込
てしまっ...



射精。
射精。
射精。

は
ん
は
ん

は
ん

は
ん
は
ん

は
ん
は
ん

は
ん
は
ん

は
ん
は
ん

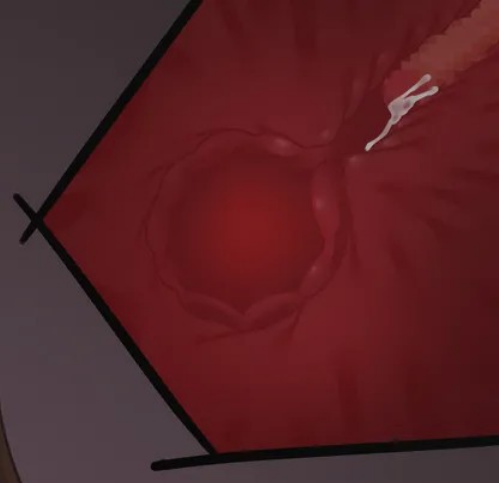
ナースのセクシーは
自分の欲望に少年の
性器を挿入する。

ずばん

射精する。



また精通してはから
少年にそんな刺激を
与えてはならない。



おはよう
おはよう

おはよう
おはよう



この夜もまた名器であり
少年が味わうにはあまりにも
早すぎる。そんな快楽に
おぼれ少年は...

はちゅんぽん

はちゅんぽん

精液を垂れ流し続ける。

射精。射精。射精。

ずんずん

ぱん

ぱん

びゅる

ぱん

びゅる

ぱん

ずんずん

どれだけ射精しても
彼女が解放してくれ
ことはなくその性技を
容赦なく少年にぶつける。

すっぴん♡

ぱん

ぱん

びゅるるる

ぱん

びゅるるる

ぱん

すっぴん♡

少年に射精するのと
以外の道は残されて
ないのだ。





続く...